



あらゆる人と共に…



8月号
2026
vol.188

三田市議会だより



6月定例会の結果\一般質問\政務活動費



※表紙紹介は裏表紙をご覧ください。

武ちゃんの第6話

三田こぼれ話

道路標識「京口」って何のこと？

三田市内を車で走っていると、現在の住所には存在しない名前の道路標識が目につきますよね。石名、赤坂、松山堤、嫁が淵…など。そして昔の中央公民館（現在のさんだ市民センター）前の交差点には「京口」という標識があります。京口ってなんでしょう。

この場所は旧街道の重要な起点ですが、京口は京都へ行く道であることを意味しています。この道を現在の176号線に向かって走り、横山峠を越え、道場河原（宿場町）を経由して京都、大阪、神戸、有馬温泉に行くことが出来ます。ここから京都までは、まだまだ遠いのです。

元三田文化協会会長
山口武宏

京口交差点にある道標
左・神戸有馬温泉
右・はりま三木

声の議会だより 配信中!

「音訳ボランティア ともしび」の皆さまのご協力により、「三田市議会だより つなぐ」を音声化した「声の議会だより つなぐ」を、市ホームページで配信しています。ぜひご利用ください。

右記二次元コードからご利用いただけます。

※音声を聞くためには、MP3を再生するソフトが必要です。

永年勤続表彰

福田秀章議員、檜田充元議員、美藤和広元議員が、全国市議会議長会より永年勤続表彰20年を受けました。

福田秀章議員

9月定例会は8月27日に開会予定です

8/27(木)	10:00～	本会議
8/28(金)	10:00～	予算決算常任委員会 経営政策分科会
	終了後	経営政策常任委員会
8/31(月)	10:00～	予算決算常任委員会 福祉教育分科会
	終了後	福祉教育常任委員会
9/ 1(火)	10:00～	予算決算常任委員会 生活地域分科会
	終了後	生活地域常任委員会
9/ 3(木)	10:00～	予算決算常任委員会 討論・表決
9/10(木)	10:00～	本会議 一般質問
9/11(金)	10:00～	本会議 一般質問
9/14(月)	10:00～	本会議 一般質問(予備日)
9/18(金)	10:00～	本会議 委員会審査報告・質疑・討論・表決
9/24(木)	10:00～	予算決算常任委員会 経営政策分科会(令和7年度決算認定)
9/25(金)	10:00～	予算決算常任委員会 福祉教育分科会(令和7年度決算認定)
9/28(月)	10:00～	予算決算常任委員会 生活地域分科会(令和7年度決算認定)
9/30(水)	9:20～	予算決算常任委員会 総括質疑(令和7年度決算認定)
10/ 1(木)	10:00～	予算決算常任委員会 討論・表決(令和7年度決算認定)

*上記予定は、変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。本会議は市役所6階議場で、常任委員会は6階委員会室で開催予定です。

表紙紹介 三田まつりのナイトバブルショー

三田の夏の風物詩「三田まつり」で開催されるナイトバブルショーでは、夜空に舞う幻想的なシャボン玉と華やかな打ち上げ花火が夏の夜を彩ります。

三田市在住のイラストレーター、
宮館みえりさんに描いていただきました。



三田市議会だより 2026.8 vol.188

〒669-1595 三田市三輪2-1-1
TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992
✉ gikai_u@city.sanda.lg.jp

市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gikai/index.html

三田市
議会HP



広報委員会

〔委員長〕大西雅子 〔副委員長〕福本愛
〔委員〕大西憲司 假屋浩司 水元サユミ 小山裕久

編集 後記

暑さ厳しい夏がやってきました。豊かな自然に囲まれた三田には夏を満喫できるスポットがたくさんあるので、ぜひ最高の思い出をつくりに出かけてみてくださいね。9月定例会が8月末よりはじまり、令和7年度決算審査も行います。内容はつなぐに掲載してまいります。(小山)



この広報紙は環境保護のため、
植物油インキを使用しています。

26議8-021A4

☆☆ SNSで議会情報を発信中! ☆☆

YouTube

本会議の録画映像を公開しています。

Facebook

市議会の日程やお知らせなどを投稿しています。



SANDA CITY COUNCIL

令和
8年

6月定例会(第386回)の結果

6月1日～6月25日(会期:25日間)

市長提出議案 14件
議員提出議案 1件
請願 7件
陳情 2件



詳しくは
こちら

全議員が賛成した議案・請願

予 算 一般会計補正予算(第1号) 予算案件1件

条 例 市税条例の一部改正 など条例案件6件(うち2件は専決報告)

その他 高規格救急自動車の取得、市道路線の認定 など事件決議4件
固定資産評価審査委員会委員の選任同意、人権擁護委員候補者の推薦 人事案件2件
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度を堅持するための、2027年度政府予算に係る意見書の提出 議員提出議案1件

請 願 母子小学校への通学に関する請願 など請願2件

議会内容等の詳細は、
三田市議会ホームページの
「審議予定・結果」を
ご覧ください。

全議員が継続審査とした請願

請 願 市民センター窓口サービスの縮小・改定方針の中止を求める請願 請願1件

賛否が分かれた議案・請願(肥後淳三議員は、議長のため表決に加わりません)

賛成:○ 反対:×

件 名		議員名	創志会					さんだの未来					市民と ともに			公明党			日本共産党 三田市議団			日本維新 の会三田		結果		
			幸田 安司	今北 義明	小杉 崇浩	坪之内 幸司	福田 秀章	假屋 浩司	佐貫 尚子	中田 哲	関口 正人	小山 裕久	橋本 維文	山崎 丈	大西 憲司	福田 佳則	村手 秀樹	大西 雅子	長尾 明憲	水元 サユミ	木村 雅人	福本 愛	長谷川 良果			
報告	専決処分事項の報告及びこれの承認を求めることについて（国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 承認			
請願	ごみ処理手数料の導入をしないことを求める請願		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×		賛成3人 反対18人 不採択		
	新病院整備費と整備計画の市民説明会開催を求める請願		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×			賛成3人 反対18人 不採択	
	新病院整備に関する特別委員会設置を求める請願		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×				賛成3人 反対18人 不採択
	市民病院跡地活用の事業者募集の中止を求める請願		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×				

賛否が分かれた議案・請願



報告第4号 専決処分事項の報告及びこれの承認を求めることについて(国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定)

内容 地方税法等の一部改正に伴い、国民健康保険税条例を早急に一部改正する必要が生じ、専決処分を行ったため、承認を求めるもの

承認

賛成18名
反対3名

委員会審査報告より(審議経過)

討論では、子育て支援自体は必要であるが、公的医療保険制度は国民の医療に関わる権利の保障が役割であり、医療給付と全く関係のない費用の上乗せは認められないとの意見や、国民健康保険税へのさらなる加算は生活の圧迫につながるため、反対する意見があった。

また、未来への投資であり、社会保障制度の維持にもつながることから、全世代で財源を支え合い、こどもや子育てに関する政策を充実させていく制度の導入は大きな意義があるとの意見や、少子化による税収や労働力の低下は国全体の問題であり、国民全員で支え合い子育て支援を拡充することが大切であるとの意見、さらに、制度の効果検証と負担軽減策を国に要望する必要があるが、国の法改正に伴う条例整備であり、財源確保が目的であるため、賛成する意見があった。

採決の結果、賛成多数のため承認すべきものと決した。
(福祉教育常任委員会委員長 小杉崇浩)

反対討論

全ての公的医療保険加入者から、保険料に上乗せして子ども・子育て支援金を徴収するもので、単純にそれだけ市民の負担が増えることとなり、増税と変わらない。子育て支援は必要であるが、医療保険への上乗せではなく、毎年1兆円規模で増加している防衛費の見直しなど、税金の使い道を変えれば財源はあるのではないかと。

加えて、公的医療保険制度は、国民の医療にかかる権利の保障が役割であり、医療給付と全く関係のない費用の上乗せは認められない。

物価高騰が長期化する中、既に高額な国民健康保険税への上乗せによる市民負担増、医療給付とは関係のない目的外使用への道を開く改正は、国の方針とはいえ問題があるため、反対。

(日本共産党三田市議団 長尾明憲)



請願第21号 ごみ処理手数料の導入をしないことを求める請願(令和7年9月・12月定例会、令和8年3月定例会からの継続審査)

内容 (請願者) 松岡信枝氏
(趣 旨) 指定ごみ袋代にごみの排出量に応じた手数料の上乗せをしないよう求めるもの

不採択

賛成3名
反対18名

委員会審査報告より(審議経過)

自由討議では、廃棄物処理基本計画における本請願の位置付けを注視していきたいとの意見があった。

討論では、ごみ処理手数料の導入は一旦撤回され、今後2年をかけて廃棄物処理基本計画の見直しの中で検討される予定であるが、導入の理由及び検討の必要はないと考えため、賛成する意見があった。

また、ごみ処理のあり方については、高齢化に伴う福祉収集等の課題もあり、単なる反対にとどまらずアンケートで市民の声を把握しながらより良い計画策定とともに議論を進めるべきであるため、反対する意見があった。

採決の結果、賛成少数のため不採択とすべきものと決した。
(生活地域常任委員会委員長 今北義明)

賛成討論

ごみ処理サービスは公共財としての性質があるため、その費用は原則として市町村の税金で賄うべきものであることに加え、ごみ処理手数料は自治体におけるごみの減量化や資源化が進んでいない、市民の意識が低い、公平性が保たれていない等の場合に導入するものであるが、本市においては、このどれにも当てはまらず、ごみ処理手数料の導入自体に必要性がない。福祉収集の費用は、福祉的施策として一般的なごみ処理手数料とは区別して検討すべきであるため、賛成。

(日本共産党三田市議団 水元サユミ)





請願第28号 新病院整備費と整備計画の市民説明会開催を求める請願

内容 (請願者) 三田市民病院をまもる会 佐藤仁志氏
(趣 旨) 新病院整備計画の建設費及び金利上昇による整備費総額見込額や整備費高騰による市財政収支見込への影響等について市民説明会を行うよう求めるもの

不採択
賛成 3名
反対 18名

委員会審査報告より (審議経過)

自由討議では、財政面の問題だけでなく具体的な説明を行い、多くの市民の意見を聞くような説明会としてほしいとの意見があった。

討論では、整備総額見込額や当初の計画からの変更点の説明は市民にとって重要であるため、賛成する意見があった。

また、幅広く多くの人が参加できる条件で市民説明会が開催されるか、議会として注視する必要があるが、既に市が開催を予定しており、請願を受けること自体がふさわしくないため、反対する意見があった。

採決の結果、賛成少数のため不採択とすべきものと決した。
(経営政策常任委員会委員長 佐貫尚子)

賛成討論

神戸市北区において実施された「三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合に伴う新病院整備事業説明会」は、会場に比して参加者が非常に少なく、周知と説明内容が十分であったとはいえない。今後予定されている市民説明会は、三田市民のみを対象とした2回のみの開催であり、回数や質疑応答時間を増やすべきである。また、新病院基本設計は、基本計画からの変更も多く、中東情勢の影響は反映されていない。市民生活に大きく影響する重要な問題であり、これらの点を反映した上で充実した市民説明会を行うべきであるため、賛成。

(日本共産党三田市議団 水元サユミ)



請願第29号 新病院整備に関する特別委員会設置を求める請願

内容 (請願者) 三田市民病院をまもる会 段林正樹氏
(趣 旨) 新病院整備に関する特別委員会を設置し整備費の見込みと市財政に与える影響の審議を求めるもの

不採択
賛成 3名
反対 18名

委員会審査報告より (審議経過)

討論では、建築資材の高騰が懸念される中で、市財政の状況を考慮して再編統合を見直す選択肢が出てくる可能性もある。このまま再編統合を進めてよいのかも含め検討していく必要があるため、賛成する意見があった。

また、市民の命を守るためには再編統合すべきであり、議会として既に承認している。新病院基本計画は、物価高騰による影響も考慮し、議論する必要があるが、具体的な病院機能等を議論する特別委員会の設置や、現所管委員会での議論も可能であり、改めて方向性を議論する特別委員会の設置は必要ないため、反対する意見があった。

採決の結果、賛成少数のため不採択とすべきものと決した。
(議会運営委員会委員長 福田秀章)

賛成討論

いまだに市民に是非を問うていない病院の再編統合そのものに反対であるが、再編統合に賛成する市民からも新病院の整備費が市財政に与える影響への不安の声を聴く。建設資材・労務費の高騰、資材確保や金利上昇の懸念がある中で、市財政への影響の検証が求められている。過去に、整備費は青天井ではないとの答弁があったが、今後の世界情勢がどのような影響を与えるか分からず、整備費が市財政の上限を超えた場合には再編統合自体の見直しも選択肢としてあり得るのではないかと。こうした現状において、今後の影響等を検討する特別委員会の設置が必要であるため、賛成。

(日本共産党三田市議団 水元サユミ)



請願第30号 市民病院跡地活用の事業者募集の中止を求める請願

内容 (請願者) 三田市民病院をまもる会 東浦徳次氏
(趣 旨) 市民病院跡地活用の事業者募集の中止を求めるもの

不採択
賛成 3名
反対 18名

委員会審査報告より (審議経過)

討論では、新病院の建設自体に見通しが立たない中、現市民病院跡地活用の事業者を先行して募集することに問題があり、一旦立ち止まるべきであるため、賛成する意見があった。

また、市内に回復期病床が約60床という現状で、急性期医療を担う新病院開院後、引き続き市民が安心、安全に暮らすためには、回復期医療機関等の誘致が必要不可欠であるとの意見や、新病院と回復期医療機関等を同時に連携する必要があること、売却額も相当であることから、早期に事業者を決定する必要があるため、反対する意見があった。

採決の結果、賛成少数のため不採択とすべきものと決した。
(経営政策常任委員会委員長 佐貫尚子)

賛成討論

再編統合の基本方針、基本構想の決定時から、物価高騰や財政事情など市を取り巻く情勢は大幅に変わっていることに加え、そもそも市民に是非を問うていないため、現在の情勢のもと再編統合の是非を含め、改めて検討すべきである。今後、新病院整備費がさらに高騰し、入札不調が続けば建設自体も危ぶまれ、新病院の開院時期が延期となれば切れ目なく回復期医療を提供する跡地活用の時期も遅れる状況であり、契約によっては違約金が発生する可能性もあるため、賛成。

(日本共産党三田市議団 水元サユミ)

質問

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

6月定例会では、17人の議員が一般質問（個人質問）をしました。質問時間は、答弁の時間を含めて1人40分です。



三田市議会会議録

検索



三田市議会ユーチューブチャンネル

検索



※本会議の録画映像を公開しています。

木村 雅人 議員

日本共産党三田市議団



橋本 維文 議員

市民とともに



住宅支援

住宅の困窮度が高い市民に市営住宅の提供を

議員 高齢化が進行しており、単身の高齢者をはじめ住宅に困窮する市民の増加が見込まれる。限られた資源の中でも、住宅に困窮する度合いが高い市民に、市営住宅を的確かつ迅速に提供できる仕組みを再構築する必要があるのでは。

優先度を考慮し、入居者の選考にあたっている

市 優先枠を設定し、事情を抱えた世帯へ配慮している。募集枠の概ね半数が事情を抱えた世帯対象となっており、優先度を考慮して入居者の選考にあたっている。必要な方へ柔軟に提供する取組となっていることから、現状の対応を継続していく。(名倉副市長)

他の質問 財政問題の課題と今後の対策について 他

労務管理

公益目的通報制度は機能したのか

議員 公益目的通報で休憩時間の未取得という違法状態に関する情報が記載されていたにもかかわらず、結果として是正が遅れたのではないかと。また、違法状態認定後も未払い勤務に対する手当の取扱いが整理されていないことについて、市の認識を伺う。

適切な対応と改善を進める

市 公益目的通報制度は適切に運用してきたと認識している。今回の事案については、行政監察員（弁護士）が当初からの調査の必要性を認めなかったものである。今後は制度の改善を図る。未払い勤務については実態を確認した上で、適切に対応していく。

(西尾理事兼総務部長)

他の質問 地域活動の支援拡充について 他



大西 雅子 議員
公明党



高齢者
支援

市民に寄り添った 高齢者運賃助成に

議員 運転免許証返納やバス路線廃止に伴いタクシーを利用せざるを得ない市民から年間7,500円の高齢者運賃助成は少ないとの声がある一方、利用率の低さも課題となっている。市民に寄り添った制度への見直しが必要では。

検討を進め、令和8年度中に施策の方針を示す

市 本制度利用における課題は認識しており、使用方法や利便性の向上を図るため、バスや電車に加えタクシーでも利用可能な交通系ICカードの活用も検討している。事業採算性や利用のしやすさを検証し、適切な助成額も含め、高齢化に適応した持続可能な制度となるよう検討を進め、令和8年度中に施策の方針を示したい。(名倉副市長)

他の質問 生命の安全教室について 他

今北 義明 議員
創志会



サンフラワー

株式会社サンフラワーの 再建は

議員 役員交代は。また、市貸付金2億2,430万円は3年据え置き20年の返済計画であるが、高度化資金返済も厳しい状況での対応は。さらに、市が区分所有するサンフラワービルの2階床や、元経営者の不透明な資金への対応は。

現状の返済計画では返済不可能、協議を続ける

市 取締役は名倉副市長を個人として選任予定。高度化資金返済は県と協議中。市貸付金は(株)サンフラワーが再建計画を策定し自走した経営を目指す。区分所有部分の管理費等は約3割を市が負担。また、元経営者の不透明な会計処理のうち業務不履行による償還分は毎月40万円が返還され、不透明な貸付金の未返還分は訴訟を提起する予定。(田村市長)

他の質問 三田市野外活動センターについて 他



*高度化資金：都道府県と独立行政法人中小企業基盤整備機構が協調して行う長期・低利の融資制度

長尾 明憲 議員
日本共産党三田市議団



学校給食

学校給食センターは 直営を堅持すべき

議員 令和5年に広島県で民間事業者が破産し、給食の提供が困難になった事例があったように、民間事業者による給食提供は継続性に問題がある。加えて、直営では不要な利益分の上乗せも必要になるため、給食は直営を堅持すべきと考えるが、市の見解を伺う。

4つの手法から給食センターのあり方を検討

市 現時点で特定の推進手法を決定したものではなく、こどもたちの食の安全・安心を確保するとともに市の責任を果たせるよう、現行の直営方式をはじめ、調理・配送等に民間活力を導入するPFI手法など4つの手法を並列して検討していく。(山本学校教育部長)

他の質問 現市民病院の跡地活用募集を中止することについて 他

中田 哲 議員
さんだの未来



公民連携

くるるさんだの将来展望は

議員 地域情報やポイント事業にとどめず、公共交通の予約・決済・運行情報を統合する三田版MaaSの基盤としての発展や、移動・消費データをEBPMや産官学連携による地域課題解決に活用する将来展望について、市の見解を伺う。

利用者数の拡大に応じて検討する

市 研究機関等と連携し、地域や市民の活動実態を分析することで、まちづくりや経済活動等への活用も期待できる。また、神姫バス(株)が提供するアプリであり、MaaSへの発展の基盤ともなり得る。まずは利用登録者数1万人を目標に、今後の機能拡充も視野に実証を進めたい。(西垣戸理事兼総合政策部長)

他の質問 (株)サンフラワーへの関与について 他



*MaaS：複数の公共交通や移動サービス等を最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うサービス
*EBPM：根拠に基づいて政策を立案すること

坪之内 幸司 議員
創志会



農業支援

農業支援制度の情報提供 と周知方法は

議員 市独自の支援制度、国・県の補助制度や支援施策を農業者へ確実に届けるために、どのような情報提供や周知を行っているのか。

必要な情報を適切に提供し、制度利用を支援

市 地域の農会長を通じた案内や文書配布、市ホームページへの掲載に加え、複雑な国・県の補助制度は、営農相談によるニーズ把握に努め、制度利用を支援している。また、幅広く周知が必要な制度など、状況に応じて全体説明会等の機会を設け、必要な時期に制度概要や要件、必要書類等を丁寧に説明することで、理解や周知が進むよう取り組んでいる。(辻下産業振興部長)

他の質問 市民協働の推進と職員の市民対応について 他

大西 憲司 議員
市民とともに



環境

資源ごみ持ち去り 禁止条例の検討状況は

議員 現在も資源ごみの違法回収が頻発している。令和7年6月定例会の一般質問において、資源ごみ持ち去り禁止条例の制定に関し、早急に検討するとの答弁があったが、現在の検討状況を伺う。

令和8年度中に条例案を上程できるよう進める

市 条例制定を見据え、違法回収業者の目撃情報がある地域への重点パトロールを実施するなど、業者の動きを注視するとともに、警察などとの連携体制の構築、違反者に対する罰則規定の内容や程度について、制定後の運用を十分に想定しながら検討しており、令和8年度中に条例案を上程できるよう進めていく。(松本市民生活部長)

他の質問 道路交通法の改正への対応について 他



村手 秀樹 議員

公明党



福本 愛 議員

日本維新の会 三田



小杉 崇浩 議員

創志会



假屋 浩司 議員

創志会



ふるさと
納税

公社による ふるさと納税の拡大を

議員 会派視察を行った茨城県境町のふるさと納税は、さかいまちづくり公社による返礼品の開発・製造、ページ作成・マーケティングなど、外部委託ではできない細やかな取組により目覚ましい拡大を実現しているが、その有効性について、市の見解を伺う。

課題もあるが、必要性を検討していく

市 ふるさと納税の取組にはさまざまな課題がある。さかいまちづくり公社のような機能を持つ組織があることで、課題克服やさらなる寄附拡大に資する可能性がある。公社の運営等には課題もあるが、本市の取組と成果を検証し、必要性を検討していく。

(西垣戸理事兼総合政策部長)

他の質問 予防医療について 他

人材確保

若手の離職防止と挑戦を 促す職場づくりを

議員 若手中堅の離職や年齢偏重が懸念されるが、アンケート調査で判明した働きやすさや離職に関する課題と具体策は。また、失敗を恐れず挑戦できる風土をどう築くのか。

キャリア支援を強化し、挑戦できる風土を醸成

市 課題である若手職員への対応については、市役所でのキャリア形成支援や風通しの良い職場づくりに取り組み、将来にわたり働く意欲の持てる職場環境を構築する。また、プロジェクトチームやワークショップ等での挑戦の機会、人事評価制度により成長を促す仕組みを強化したい。市役所全体で若手職員の挑戦を後押しする風土づくりを推進する。

(西尾理事兼総務部長)

他の質問 観光振興とシティプロモーションの強化について 他

関口 正人 議員

さんの未来



教育環境

小中学校体育館への 空調設備の早期導入を

議員 近年の夏の気温上昇に対し、児童生徒の健康と安全に運動できる環境確保及び災害時における避難所の安全確保のため、小中学校体育館への空調設備の早期導入が不可欠と考えるが、取組状況と今後のスケジュールは。

令和9年度から順次設備工事に着手する

市 児童生徒数が多く体育館の利用頻度が高い小学校5校と中学校2校について、令和8年度中に設計を行い、令和9年度から順次設備工事に着手する。また、国の補助制度等を活用しながら計画的に検討し、令和15年度までに市内の全小中学校体育館に設置が完了できるよう調整を進める。(加嶋教育長)

他の質問 三田市民・済生会病院について 他

教育支援

スクールソーシャル ワーカーの常勤配置を

議員 現在、スクールソーシャルワーカーは中学校区に1人、週1回の非常勤配置であるが、ケース会議の日程調整や緊急時の対応が難しい、福祉・医療機関等との関係が深められないなどの課題がある。常勤配置を検討すべきでは。

より効果的な配置のあり方を検討していく

市 現在の勤務体制における課題は十分認識している。今後、勤務体制の充実や配置方法の工夫なども含め、スクールソーシャルワーカーのより効果的な配置のあり方について検討し、他市町の状況も参考に、児童生徒一人一人に寄り添った支援体制の充実に努める。

(山本学校教育部長)

他の質問 医療ケア児者のご家族のための支援について 他

福田 佳則 議員

公明党



主権者
教育

地域と学ぶ主権者教育の 推進方針は

議員 小中学生が地域課題の解決に主体的に参加・体験し、溢れる情報を正しく判断する力を育む主権者教育が重要である。教育委員会、市長部局、地域、学校、企業等が連携しながら社会参加を支えていくにあたり、行政の役割と展望は。

地域と連携し、社会に関わる力を育む

市 研修等を通じた教員の指導力向上、地域参加型の学習や各校の特色ある実践の支援、地域連携への助言、中学生サミットの実施など、学校現場の負担にも配慮しながら、こどもたちが自信を持って社会や政治に関わる力を育むことを目指し、主権者教育の推進に取り組む。(山本学校教育部長)

他の質問 フラワータウンの再生と持続可能なまちづくりについて 他

公園施設

公園施設の老朽化対策は

議員 市民が安心して利用できるスポーツ施設の実現に向けた老朽化対策は。また、利用料金改定後の施設整備や、計画的な改修及び施設更新等の方針について、市の見解を伺う。

快適な利用環境の維持に努めていく

市 安全に利用できるよう、日々の施設点検に加え利用者の声も参考にしつつ、適切な施設機能維持に努めている。また、将来の世代に負担を先送りしないよう利用料には施設の減価償却相当額を含めている。大規模修繕については、長期的な視点からライフサイクルコストの削減を図りつつ、段階的かつ計画的に対応していく。(田村市長)

他の質問 部活動地域展開について 他



水元 サユミ 議員
日本共産党三田市議団



山崎 丈 議員
市民とともに



公共交通

JR西日本に市民の 利便性向上を求めるべき

議員 駅の無人化やみどりの窓口閉鎖によって、市民が不便や困難を感じ不安をもたらしている中、京阪神エリアにおいて、令和12年度までにみどりの窓口の設置駅を30駅程度まで削減する計画もある。JR西日本に市民の現状と要望を伝え、三田駅のみどりの窓口をなくさないよう要求すべきでは。

対応可能な範囲で改善を求めている

市 具体的な事象事案については生の声を伝え、対応可能な範囲で改善を求めている。また、みどりの窓口を三田駅に継続するよう強く要望し、オペレーターの充実など、みどりの券売機プラスのサポート機能の強化についても申し入れたい。(高寺都市整備部長)

他の質問 市民病院の再編統合問題について

長谷川 良果 議員
日本維新の会 三田



公共施設

こどもを核としたまちづくり と公共施設再編の整合性は

議員 移住定住政策を進める一方で、ふれあいプールなどのこどもたちが利用する公共施設の廃止が検討されているが、こどもを核としたまちづくりと公共施設再編をどのように整合させるのか。

真に価値ある環境を再構築し、選ばれるまちへ

市 公共施設マネジメントの推進にあたり、こどもを育む環境や機会を単に奪う進め方はあってはならない。こどもを核としたまちづくりの実現に向け、こどもや子育て世代の新たな遊び場や居場所、水に親しむ機会の提供も検討するなど、次世代に真に価値ある環境を再構築し、将来にわたって選ばれるまちの魅力を高めていく。(田村市長)

他の質問 こどもの教育・育成環境の充実について 他

教育環境

小中学校トイレの 洋式化を

議員 市内の学校トイレの洋式化率は55.2%と、兵庫県平均73.5%を下回っているが、国の目標である令和12年度までに洋式化率100%を達成することは可能か。

トイレの洋式化も含め、環境改善に取り組む

市 市民アンケートでは、体育館の空調設備と並び、トイレの洋式化や衛生面改善の要望が多く、現在、計画的な洋式化に加え、床の乾式化や段差解消、多目的トイレ整備等の衛生面やバリアフリーを含めた環境改善に取り組んでいるが、洋式化率は県平均を下回っており、必要数確保と全体の洋式化率向上に意識を向けた環境改善を進める。

(山本学校教育部長)

他の質問 フラワータウンの地域内交通について 他



令和7年度

政務活動費

政務活動費とは、地方自治法に基づいて、市議会議員の調査や研究、その他の活動に必要な経費の一部として交付されるものです。

他市の先進的な取組事例を研究して市政に生かす行政視察や、研修会等への参加費、議員活動・市政の報告等を行うための広報印刷費、研究資料の作成費など多岐にわたって活用されています。

Point!



- 「三田市議会政務活動費の交付に関する条例第2条」に基づき、会派支給または、個人支給のいずれかを議員が選択します。
- 1人当たりの交付額は、同条例に基づき、月額6万円（年額72万円）としており、交付額を超えた支出は、議員本人の自己負担となります。

詳細はこちら



交付対象者 会派または 個人	創志会 6人	公明党 3人	日本共産党 三田市議団 3人	佐貴 尚子	中田 哲	関口 正人	小山 裕久
交 付 額	4,320,000円	2,160,000円	2,160,000円	720,000円	720,000円	720,000円	720,000円
支 出 額	4,100,498円	977,575円	1,742,414円	441,093円	739,665円	766,535円	596,607円
返 納 額	219,502円	1,182,425円	417,586円	278,907円	0円	0円	123,393円
費目別支出額	研究研修費	191,580円	22,920円	0円	2,000円	52,440円	3,000円
	調 査 旅 費	1,654,934円	141,559円	209,795円	50,493円	50,493円	100,493円
	資料作成費	542,355円	21,573円	0円	11,007円	53,378円	60,283円
	資料購入費	351,203円	269,210円	176,119円	83,680円	72,747円	131,030円
	要請・陳情活動費	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	広報広聴費	571,497円	0円	597,705円	157,870円	340,470円	360,000円
	備 品 費	47,426円	0円	0円	0円	0円	0円
	通信運搬費	741,503円	480,960円	445,708円	124,120円	158,213円	149,807円
	事 務 所 費	0円	41,353円	313,087円	11,923円	11,922円	11,922円

交付対象者 会派または 個人	肥後 淳三	橋本 維文	山崎 丈	大西 憲司	福本 愛	長谷川 良果
交 付 額	720,000円	720,000円	720,000円	720,000円	720,000円	720,000円
支 出 額	509,306円	705,408円	821,770円	550,972円	671,884円	453,937円
返 納 額	210,694円	14,592円	0円	169,028円	48,116円	266,063円
費目別支出額	研究研修費	52,840円	288,327円	232,030円	137,120円	186,460円
	調 査 旅 費	138,113円	163,652円	88,370円	163,651円	0円
	資料作成費	40,083円	0円	0円	0円	4,055円
	資料購入費	13,728円	0円	0円	0円	0円
	要請・陳情活動費	0円	0円	0円	0円	0円
	広報広聴費	123,173円	250円	360,000円	0円	360,000円
	備 品 費	0円	0円	0円	0円	0円
	通信運搬費	72,089円	183,899円	72,087円	180,923円	121,369円
	事 務 所 費	69,280円	69,280円	69,283円	69,278円	0円

※会派別に取りまとめた令和3年度から令和7年度の政務活動費の資料（精算書、報告書等）は、議会事務局で保管しておりますので、閲覧を希望される方は、お問い合わせください。